

本誌で Crohn 病が特集として、しばしば取り上げられるようになってから、約 15 年が経過した。最初は疫学、症状や臨床データから始まり、画像診断法、治療法と進み、その長期経過を検討しようとして今回の特集号となった。Crohn 病は若年層に多く、かつ再燃・再発を起しやすく、また症状や臨床データと画像所見の間に解離もみられるので、消化器病を専攻する臨床医にとっても頭の痛い疾患である。正直言って、本特集号は派手さはなく、写真の 1 つ 1 つに患者と臨床医の苦悩も読み取れる。だが、各主題論文からは、長期経過を画像の推移からみて、合併症や再発・再燃の予測を行おうとする執筆者の意気込みを、読者の方々は読み取っていただきたい。管腔狭小化、裂溝、縦走潰瘍や cobblestone appearance を伴った病変は合併症を起しやすく、ま

た、再発しやすいこと、小病変を切除するために広範囲な切除は望ましくないことなどが示されている。小腸における再発の実態を画像を通して形態学的に明らかにした八尾らの論文、X 線所見の増悪要因を腸間膜付着側における微小循環障害の面からマイクロアンギオグラフィーを駆使して検討した西俣らの研究は、欧米ではみられない本邦独特なものである。そこには、美しい画像と組織像に裏打ちされた実証主義が脈打っている。

湯川秀樹博士が西洋と東洋のモノの考え方にについて、「向こう（西洋）の考え方が、こちらにわかって、向こうがこちらを理解してくれないなら、本当はこちらのほうが強いことになる」（『宇宙と心の世界』読売新聞社、1969 年）と述べられている。今後とも、わが国にしかできない独自の業績を積み重ねていきたいものである。

胃と腸

7 月号（第 26 巻・第 7 号）予 告

発売予定 7 月 25 日
定 価 1,957 円（税込）

主題／大腸 sm 癌の診断

序 説	大腸 sm 癌の診断……………東京都がん検診センター	西 澤 護
主 題	大腸 sm 癌の診断—X 線の立場から……………癌研付属病院・内科	坂谷 新・他
	大腸 sm 癌の診断—X 線の立場から……………松山赤十字病院・胃腸センター	舘上 忠彦・他
	大腸 sm 癌の診断—X 線・内視鏡の立場から……………久留米大・2 内	鶴田 修・他
	大腸 sm 癌の診断—内視鏡の立場から……………秋田赤十字病院・外	工藤 進英・他
	大腸 sm 癌の病理—特に sm 浸潤度と肉眼像の解析について……………慈恵医大・病理	池上 雅博・他
主題研究	画像解析による大腸癌早期診断の可能性と限界……………京都第一日赤・2 内	磯 彰格・他
初心者講座	胃 X 線検査のポイント—私の精密検査法—6. 部位による工夫（2）……………八尾恒良・長南明道・飯田三雄	
今月の症例	原発性空腸癌の 1 例……………九大・2 内	中村昌太郎・他
研究	梅毒性胃腸炎の 4 例……………松山赤十字病院・消	小林 広幸・他
症 例	興味ある拡がりを呈した表層拡大型早期胃癌の 1 例……………東女医大・消	光永 篤・他
	自然消失した胃悪性リンパ腫の 1 例……………順大・消内	吉峰 二夫・他
	膀胱炎による大腸狭窄の 1 例……………松山赤十字病院・消	山田 豊・他

胃 と 腸（第 26 巻 第 6 号）

編 集 早期胃癌研究会

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-91 東京都文京区本郷 5-24-3

☎ 社内案内 (03) 3817-5600

本誌編集室直通 (03) 3817-5714

販売部直通 (03) 3817-5659

1991 年 6 月 25 日発行（毎月 25 日発行）

1 部定価 1,957 円（本体 1,900 円）（配送料 81 円）

年ぎめ予約購読料 22,320 円（本体 21,670 円）

（送料弊社負担）

FAX (03) 3815-7802

振替口座 東京 7-96693 番

印 刷 所 永和印刷（株）☎ (03) 3813-5001

広告取扱 医界弘報社 ☎ (03) 3814-5771

• Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo. © 1991, Printed in Japan.

• 本誌に掲載された著作物の複写・転載およびデータベースへの取り込みに関する許諾権は医学書院が保有しています。

• 無断で複写・複製・転載すると、著作権の侵害となることがありますので御注意下さい。

（担当）渡邊・窪田・江口・長谷川